

新宿連絡会 NEWS

vol.14 1999/12/8

1999-2000 新宿・池袋越年越冬闘争にご支援を!



越冬支援ボランティア大募集!

定価：100円

新宿野宿労働者の生活・就労保障を求める連絡会議・発行

東京都台東区日本堤1-25-11 山谷労働者福祉会館気付

TEL: 03-3876-7073/090-3818-3450 E-mail: inaba@jca.apc.org

<http://www.jca.apc.org/nojukusha/shinjuku/>

カンパ送り先：郵便振替口座 00170-1-723682 「新宿連絡会」

都区行政への怒りを胸に 自前の力で越冬に突入！

1999年という年が終わりを告げようとしています。この一年間、新宿連絡会は、全都各地の仲間と共に「自立支援センターの早期開設」を求める全都野宿労働者の運動を進めてきました。その中で、池袋の仲間がこの冬に独自の越冬闘争を準備するまで団結を深めたこと、10月の反失業東京行動を契機に全国各地の仲間とのつながりを築いてきたことなど、今後につながる大きな成果をあげてきました。

しかし、全都野宿労働者統一行動の獲得目標である自立支援事業は、12月初頭の時点でもいまだに開始にこぎつけていません。このかんも全都実は、10/28、11/16の千代田区（23区の調整役）への大衆的な団交、11/19への都庁抗議行動など、「いつまで待たせるのか！」という仲間の怒りをぶつける行動を行ってきました。そのたびに行政は「あと少し待ってくれ」と言ってきましたが、「年内開設」のタイムリミットが迫る現在、いまだに行政側の発表はありません。

一方、「ホームレスへの雇用対策」として鳴り物入りで発表された、東京都労働経済局による「森林整備事業」も、蓋をあけると、住み込み枠は10人分しかなく、雀の涙程度のものでしかありません。それでも新宿の仲間の多くはこの事業に期待を寄せ、現在、職安での登録を行なっているところです。新宿連絡会は雇用対策の拡大を求めて、署名活動を展開しており、12月中に石原知事に提出する予定です。

毎年行なわれている越冬対策も、5年前から規模（2つの寮で388人）が全く変わって

いません。野宿者の数がこの間、倍増しているにも関わらず、です。連絡会は、11/15に越冬対策の拡充を求める申し入れを新宿区に提出し、12/6に福祉課と団体交渉を持ちましたが、福祉課長は「新宿区は寮の増設を申し入れたが、他区の賛成を得られなかった」との弁明に終止しました。

都区行政による「路上生活者対策」は、官僚主義的な硬直に陥っており、野宿者数の急増を考慮すると、ひとりひとりが活用できる対策はむしろ縮小していると言わざるをえません。連絡会は全都の仲間と共に、あくまでも「自立支援事業の年内開始」を軸とした対策枠の拡大を迫っていきますが、暫定の事業が開始されたとしても、大きな枠の変化は期待できない情勢です。

「これ以上の犠牲者を出すな！」

こうした中、今回の越冬闘争は、例年以上の厳しさを強いられたものであると言えるでしょう。11月28日（日）、新宿連絡会事務局は、炊き出し集会の場で越冬闘争突入を宣言しました。10月、11月にわかっているだけで、新宿（中央公園及び駅周辺）、高田馬場（戸山公園）で計5名の仲間が亡くなっており、現在は「これ以上の犠牲者を出すな！」を合言葉に、パトロール・医療活動など基礎活動の充実を最優先課題にして取り組んでいます。そして役所の窓口が閉まる年末年始（石原知事以下の都庁職員は2000年問題対策とやらで休まないようですが）には、連日の炊き出しやパトロール、医療活動に取り組む予定です。（くわしくは後ろのページで）

新宿の仲間、そして全都の仲間は、都区行政への憤りを胸に抱きながら、厳冬をのりきるため、自前の越年越冬闘争に立ち上がりました。「仲間の命は仲間を守る」—毎年変わらぬこのスローガンを現実のものとするべく、奮闘する野宿の仲間の闘いにぜひ多くの方々、のあたたかいご支援をお願いいたします。

<表紙写真> 山谷での共同炊事の様子（毎週日曜、越年期は毎日）。新宿の仲間と山谷の仲間が協力して、新宿・山谷・上野の1500人分の食事を作る。（撮影：橋本弘道氏）

池袋から

「ふくろうの会」発足

池袋での活動はこれまで、全都実・池袋に集まる池袋の野宿の仲間が中心になり、それを新宿など各地の仲間が支える形で行なわれてきました。そこにこのたび、学生を主体とする新たなボランティアグループ「ふくろうの会」が発足し、この冬の越冬に向けた準備を始めています。

池袋では12月30日（木）夜から1月4日（火）朝にかけて、池袋南公園を中心にした越冬の取り組みが行なわれます。（連日の炊き出しと昼夜のパトロールなど）

新宿連絡会も、「ふくろうの会」と池袋の仲間による越冬活動を支援していきます。

*ふくろうの会連絡先
電話 070-6181-7869

*カンパ送り先
郵便振替口座 00130-0-154581
「ふくろうの会」

ひとりの死者も出さないために・・・わたしたちに何ができるのか？

～1999年-2000年「越冬」にむけて～

朝晩の冷え込みも一段と強まり、街を歩く足も自然と速くなってきました。そんな冬景色のなか、あなたは気がつきましたか？わたしたちが足早に通りぬける街の片隅で、寒さに耐えながらじっとうすくまっている人びとがいることに。

「野宿者」のなかから一人の死者も出すことなく新しい年を迎えたい、そんな願いを現実にするための活動が「越冬」です。残念ながら、池袋では昨年5人もの凍死者を出してしまいました。「豊か」であるといわれる日本で、彼ら／彼女らはなぜ路上で死ななければならなかったのでしょうか？

現在、野宿を強いられている人びとすべてが暖かい場所で眠ることは、ほとんど不可能な状態です。真冬に「野宿」を強いられている人びとを元気づけること、また、病気のひとが迅速に医療を利用できるようにすることが必要です。さらに年末年始は行政の窓口も閉鎖されてしまうため、急に体調をくずしてしまった場合、彼ら／彼女らが頼ってゆく場所、命をつなぐところがなくなってしまうのです。

ふくろうの会でも、年末年始に「越冬」活動を行なうことにしました。

行政の窓口が閉まっている期間、野宿生活を強いられている彼ら／彼女らのひとりが人知れず死んでいく、……そんなことだけはなないようにしたいという強い願いをもって活動していきたいと思っています。（チラシより引用）



新宿越冬支援ボランティア大募集！

新宿では、5年前から野宿の当事者が中心となり、毎年、冬の間（12月～3月）に「越冬闘争」がおこなわれています。厳しい季節を「生き抜く」取り組みを通して当事者間のネットワークを育みながら、特に行政機関が閉鎖する年末年始（12/26-1/4朝）には、連日のパトロール（夜回り）、炊き出しなど集中的な活動をおこなっています。

こうした活動に参加してくれるボランティアを大募集しています。資格・経験等は、まったく必要ありません。「野宿をしている人たちと共に生きていきたい！」という気持ちのある方なら、どなたでも大歓迎です。

新宿連絡会は多岐にわたる活動をしています。もちろん全部に参加する必要はありません。できるところからやってみませんか。連絡をお待ちしています。

<越冬期の週間活動予定>

日曜

共同炊事 午前11時 新宿駅西口地下広場バルビル「新宿の目」前集合（山谷へ移動）

炊き出し集会 午後6時～7時半 新宿中央公園ポケットパーク（北東門）

雨天時は都庁第一庁舎わきの橋の下

新宿パトロール（夜回り） 午後7時半～11時 集合場所は共同炊事と同じ

月曜

福祉行動（福祉事務所への付き添い） 午前9時～12時 新宿区役所2階生活福祉課

水曜

馬場パトロール 午後6時～8時 新宿駅西口地下広場バルビル「新宿の目」前集合

池袋パトロール 午後8時半～11時 東武東上線池袋駅南口集合

金曜

新宿中央公園パトロール 午後2時～4時 新宿中央公園ポケットパーク（北東門）集合

☆活動への参加を希望される方は、それぞれの集合場所に直接来てください。

お問い合わせは、電話070-5910-0214（稲葉）／090-3818-3450（笠井）

Eメール inaba@jca.apc.org まで。

また、上記の他にも病院・施設面会、生活保護受給者交流会なども行なっています。

詳細をお知りになりたい方はご連絡ください。

☆越年期（12月26日～1月4日朝）には、集中的な活動を行ないます。

越年期の活動への参加をご希望される方は、ぜひ12月23日の「ボランティア説明会」にお集まりください。また、説明会の前には、越冬活動のめざすところを話し合う「支援連帯集会」も開かれます。こちらへの参加もどうぞ。

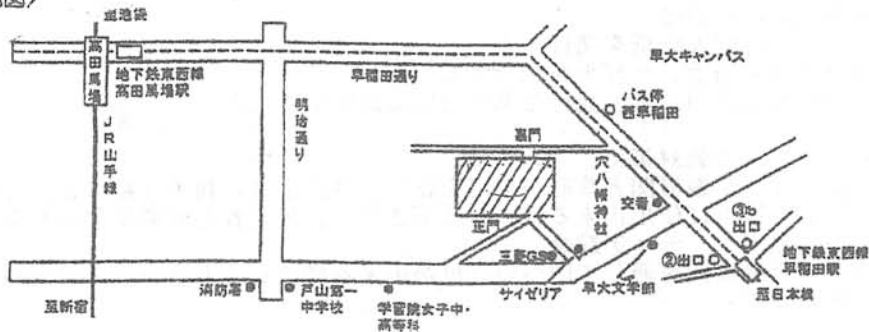
1999-2000 新宿・池袋越年・越冬闘争支援連帯集会

12月23日(木) 午後1時～5時 日本キリスト教会館4階会議室
越年越冬の活動のめざすものについて、野宿の当事者と共に話し合います。

新宿・池袋越年ボランティア説明会

12月23日(木) 午後5時～8時 早稲田奉仕園セミナーハウス5201号室
越年期のパトロールや医療活動についてのオリエンテーションを行ないます。

〈会場地図〉



- 地下鉄東西線「早稲田」駅下車5分またはJR・西武「高田馬場」駅から早大正門行バス「西早稲田」下車3分
- 日本キリスト教会館と早稲田奉仕園セミナーハウスはアバコブライダルホールと同敷地内にあります。

〈越年期の活動予定〉

12/26～1/3 新宿中央公園ポケットパークを拠点に、連日、炊き出し(午後6時～7時半)と新宿パトロール(午後7時半～11時)を行ないます。

以下はその他の予定です(池袋の活動は除く)。時間はすべてポケットパークでの集合時間です。また、もちつき大会(1/3午後)・越冬コンサート(1/3午後6時～)等のイベントも準備されています。ポケットパークには常時、誰かがおりますので、お近くをお立ち寄りの際は遊びに来てください。(活動予定は変更される可能性もあります)

- 12/26(日) 深夜パト午前3時～、医療相談午後4時～6時
- 27(月) 28(日) 福祉行動
- 29(水) 馬場パト午後3時～、
- 30(木) 深夜パト午前3時～、中央公園パト午後2時～、医療相談午後4時～6時
- 31(金) 深夜パト午前3時～、馬場パト午後3時～
- 1/1(土) さくら寮面会12時半～
- 2(日) 深夜パト午前3時～、馬場パト午後3時～
- 3(月) 深夜パト午前3時～、中央公園パト午後2時～、医療相談午後4時～6時
- 4(火) 福祉行動

意見広告

ボランティアの一人として野宿労働者の行政闘争を支援します。

- 1、年末調整の時期が来ました。
納税者（ボランティア）へ!! 生命保険料控除と火災保険料控除の申請を自主的に取り下げよう!!国・地方（都道府県）に税金を余計、納めることとなります。
- 2、国税庁をお願いします。
年末調整、確定申告において、納税者に、生命保険料と火災保険料を申告しないことは、失業対策・ホームレス対策予算の増額につながるということと呼びかけて欲しい。

政府に攻めのぼる時、以下の要求をしてみてください。

- 1、国家財政再建の為に
 - ①寄付金付の収入印紙を発行すること
 - ②寄付金付の切手、ハガキを発行すること
 - ③寄付金付収入印紙の発行を都道府県に許可すること
- 2、ホームレス・失業対策に
 - ①全銀協等、金融機関と政府が協定を結び、普通預金の利子（税引後）をホームレス・失業対策用に使用出来る様にして下さい。各預金者と個別に契約する（例、郵便局の国際ボランティア貯金）
 - ②全ての金融機関を通じて国への寄付が出来る様にして下さい。（口座の開設、寄付金箱の設置）

以上

1999年（平成11年）11月

五淵四郎

路上総合文芸雑誌

「**露宿 ROJUKU**」 第4号 12/14発行予定です

野宿の当事者が読み、書き、表現する文芸雑誌
路上からの生の声にあなたも触れてみませんか？

☆ご注文方法☆

ご希望の部数と送付先住所を明記の上、専用 FAX: 03-3378-8761 または
Eメール: inaba@jca.apc.org までご連絡ください。
代金の送金は、発送時に同封する郵便振替口座の用紙を使って、受け取り後、
最寄りの郵便局で手続をしていただく形になります。
1冊500円（送料別）。定期購読（年6冊、送料込5000円）も募集しています。

活動日誌 99/10/24~12/6

- 10/24 (日) 炊き出し
新宿パトロール (780)
- 10/25 (月) 福祉行動 (7)
- 10/27 (水) 高田馬場パトロール
全都実池袋パトロール(211)
- 10/28 (木) 全都実・千代田区交渉 (80)
- 10/31 (日) 炊き出し
新宿パトロール (672)
- 11/1 (月) 福祉行動 (2)
- 11/3 (水) 高田馬場パトロール
全都実池袋パトロール(216)
- 11/5 (金) 中央公園パトロール
- 11/7 (日) 炊き出し
新宿パトロール (601)
- 11/8 (月) 福祉行動 (6うち入院1)
- 11/10 (水) 高田馬場パトロール
全都実池袋パトロール(217)
- 11/12 (金) 中央公園パトロール
全都実東京駅パトロール
- 11/14 (日) 炊き出し、医療相談
新宿パトロール (714)
- 11/15 (月) 福祉行動 (11)
- 11/16 (火) 全都実・千代田区交渉 (80)
- 11/17 (水) 高田馬場パトロール
全都実池袋パトロール(214)
- 11/19 (金) 都庁行動 (150)
中央公園パトロール
- 11/21 (日) 炊き出し
新宿パトロール (665)
- 11/22 (月) 福祉行動 (5うち入院1)
- 11/24 (水) 高田馬場パトロール
全都実池袋パトロール(208)
- 11/26 (金) 中央公園パトロール
全都実東京駅パトロール
- 11/28 (日) 炊き出し
新宿パトロール (685)
- 11/29 (月) 福祉行動 (6)
- 12/1 (水) 高田馬場パトロール
全都実池袋パトロール(210)

- 12/3 (金) 中央公園パトロール
- 12/5 (日) 炊き出し
新宿パトロール (708)
- 12/6 (月) 福祉行動 (6)、新宿福祉交渉

*パトロールの後の括弧内の数は、路上で出会った仲間の人数。行動の後の括弧内の数は行動参加者の人数です。

*新宿中央公園には現在、230-250名の仲間が暮らしています。中央公園は毎週の日曜のパトロールでも回っていますが、10月に公園内で仲間が相次いで病死したことを受け、11月から金曜の昼間に話し込みを中心とした公園内パトロールを始めました。(午後2時にポケットパーク集合、4時頃まで)また、福祉行動の集合場所も中央公園ポケットパークに変更し、公園にいる仲間が福祉・医療にアクセスしやすい環境作りに努めています。

連絡会医療班から

11月の定例医療相談は、11月14日(日)に行ないました。受診は37人(ただし風邪薬を渡しただけの人を含めると55人)。うち紹介状を書いた人は10人でした。北風の到来と共に、医療相談を訪れる人が増えています。

12月の定例医療相談は12月12日(日)ですが、寒くなってきたため、時間を繰り上げて、炊き出しの前、午後4時から6時に行ないます。場所はいつもの中央公園ポケットパークです(雨天時は都庁第一庁舎わきの橋の下)

越年期には12月26日(日)、30日(木)、1月3日(月)の3回、医療相談を行ないます。(時間・場所は12/12と同じ)また期間中、医療テントを張り、24時間態勢で具合の悪い方を一時保護する予定です。

医療班の活動に参加される方を募集しています。資格・経験は問いません。詳しくは070-5910-0214(稲葉)まで。

生き抜くための取り組みに あたたかいご支援を！

- ☆必要なもの：米またはお米券、毛布、衣類（男物中心。下着・靴下・防寒着・ズボンなど）、使い捨てカイロ、テレホンカード、活動資金
 ☆資金カンパ送り先：郵便振替口座 00170-1-723682「新宿連絡会」
 ☆物資カンパ送り先：東京都台東区日本堤1-25-11 山谷労働者福祉会館気付（着日を土日に指定していただくようお願いいたします。）
 ☆お問い合わせ・連絡先：03-3876-7073/090-3818-3450（笠井）

毎度毎度のお願いで申し訳ありません。今年も一年のうちで一番、活動を集中させなければならぬ時がやってきました。いただいたカンパは、毛布やお米、医療活動での医薬品の購入、越年期の車輛やテントのレンタル代等に使用させていただきます。今年は例年以上に仲間の数も増え、厳しい状況のなかでの越冬闘争となりますが、「仲間の命は仲間を守る」「もうこれ以上の犠牲者を出さない」という決意で臨んでいく所存です。

ぜひ多くの方々のあたたかいご支援をお願い申し上げます。

☆10月末から11月上旬、写真家を中心とするグループ「はらべこ東京」による巡回写真展が新潟県内で行なわれ、その際、新潟の農家の方々をはじめとする参加者から大量のお米のカンパが寄せられました。新宿連絡会は12月5日、500kgのお米をいただきました。大切に使用させていただきます。カンパをくださった皆さん、関係者の皆さんにお礼申し上げます。

新宿連絡会 99年10月-11月期会計報告

<収入>		<支出>	
郵便振替カンパ27口	447,771	炊事関連費	195,415
郵便振替越冬カンパ28口	201,440	交通費	213,520
「露宿」通信会費4口	20,000	車両燃料費など	4,179
「露宿」売上	90,160	印刷費	57,844
「提言」売上	16,400	コピー・DPE費	3,500
笠井本 売上	18,980	文具・図書費	3,458
個人・団体カンパ	28,506	発送費	43,750
広告収入	23,000	倉庫家賃・水道光熱費	87,068
越冬セミナー会場費	11,000	電話代	32,586
計	857,257	薬医療関連費	20,401
		備品	4,347
		雑費	11,208
収 支	12,364	池袋活動費	21,200
前期負債	53,189	毛布購入費	144,417
残高	△40,820	9/14実行委参加費	2,000
		計	844,893